

企業のサステナビリティ / CSR / 環境 担当者 様

「環境、CSR、SDGsでイノベーションを起こす」

ご提案書 ver.1

2019年2月

株式会社環境ビジネスエージェンシー (eba)
&
サステナブル経営総合研究所 (SBRL)

■ 1. サービス概要

1. CSR活動が新たな事業機会となり、本業に新しい価値を加え本業を成長させることや、経済的・社会的価値をともに創造するCSVを基に、SDGs目標達成に向けての取組みを提案します。
2. eba（（株）環境ビジネスエージェンシー）は、環境ビジネスに特化して15年間培ってきた専門性とネットワークがあるからこそ、皆さまの環境ビジネスの為に真のベストミックスをご提案します。
3. SBRL（サステイナブル経営総合研究所）は、「環境、CSR、SDGsは、イノベーションの原動力である」という仮説を基に、単なる情報発信に止まらず、企業、自治体、NGO/NPO等への支援業務、環境経営やCSR経営導入に始まりSDGs導入・実行サポート、イノベーション経営移行への支援等多彩なプログラムを組み支援を行うことが可能です。

■ 2. イノベーションの為の人材開発メニュー

1. 単発レクチャー・講演 (100分/最大100名/対象:一般向けor管理職向け)
 - ① 「持続可能な社会とは何か」 or ② 「CSRの本質とは何か」 or
 - ③ 「SDGsのコンテンツとコンテクスト」 (①or②or③を選択可能)
2. 半日コース (3時間30分/最大40名/対象:管理職のキーパーソン向け)
 - ④ 「バックキャスト入門」 or
 - ⑤ 「持続可能な社会とCSRそしてSDGsへ」 (④ or ⑤を選択可能)
3. 1日コース (6時間30分/最大40名/対象:管理職のキーパーソン、経営層向け)
 - ⑥ 「サステナビリティでイノベーションを起こす」
4. 6ヶ月コース (6時間×6回/最大40名/対象:管理職のキーパーソン、経営層向け)
 - ⑦ 「サステナブル イノベーション コミュニティを作る」
5. ⑧ SDGs製品・サービスの基準づくり Consulting
6. ⑨ SDGs × ISO14001 Consulting
7. ⑩ アドバイザリーサービス (上記①～⑨含め、カスタマイズ可能)

■ 3. メニュー概要 (1/8)

1. レクチャー・講演 (100分/最大100名/対象:一般向けor管理職向け)

① 「持続可能な社会とは何か」コース

本コースでは、そもそも持続可能性とは何かから出発し、日本の持続可能な社会像並びに時系列での社会構造の変化を、持続可能性指標を使って考察します。併せて欧州等環境先進国や自治体の持続可能な社会像と指標について紹介し、持続可能な社会像をコンパスのように参加者全員が明確に持てることを目標とします。

CSRもCSVもSDGsも、その目指すゴールはいずれも持続可能な社会だからです。ゴールが明瞭に見えなければ、活動は曖昧なものになってしまいます。

【こんな方におすすめ】

下記の本質的な問いに答えられない方に受講をお勧めします。

- ▣ 持続可能な社会とは一体どんな社会ですか？
- ▣ 日本や世界は持続可能な社会に近づいていますか、それとも遠ざかっていますか？

■ 3. メニュー概要 (2/8)

1. レクチャー・講演 (100分/最大100名/対象:一般向けor管理職向け)

② 「CSRの本質とは何か」コース

本コースでは、各国で異なる生き立ちで生まれたCSRがISO化された経緯から入り、CSVにも触れつつ、CSRが本来目指すべきゴールはどこにあるのか、持続可能な社会との関係はどうなっているのか、CSRが付加価値を生む活動にするためには、どういう認識を持ち、SDGsも含めて、どんな対応をすればよいかをわかりやすく解説します。

【こんな方におすすめ】

下記の先入観を持たれている方に受講をお勧めします。

- ❑ CSRって、企業の社会貢献活動でしょ…。
- ❑ CSRは、企業活動そのものだから、我が社は既に取り組んでいます…。
- ❑ CSRは、コストばかりかかって、リターンがないから困ります…。
- ❑ CSRは、その専門部署の人たちに任せておけばいいのでは…。

■ 3. メニュー概要 (3/8)

1. レクチャー・講演 (100分/最大100名/対象:一般向けor管理職向け)

③ 「SDGsのコンテンツとコンテクスト」コース

本コースでは、そもそも国連でSDGsが生まれた背景から入り、なぜ企業がこれに取り組むべきなのか、今後SDGsはどんな方向に向かうのか、そうしたコンテクスト(文脈)をしっかりと理解することからスタートし、CSRやESG、持続可能な社会との関連性にも言及しながら、17項目の内容、それぞれの重要ポイントに関して解説します。

【こんな方におすすめ】

下記の疑問やお悩みを持っていらっしゃる方に受講をお勧めします。

- ▣ 理念は尊いけれど、基本的には国がやる仕事ではないかな…。
- ▣ 例：途上国の貧困や飢餓になぜ日本企業が対応しなければならないのか理解できない…。
- ▣ CSRだけでも大変なのに、SDGsまで手が回らない…。

■ 3. メニュー概要 (4/8)

2. 半日コース (3時間30分/最大40名/対象:管理職のキーパーソン向け)

④ 「バックキャスト入門」コース

本コースでは、半日というコンパクトな時間の中で、参加者全員が、バックキャスト思考をひとつのツールとして使いこなせるようになることが、本講座の目標です。演習では、自分たちの未来像を実際に描き（ビジョニング）、それを実現するためには今、何をすべきかを考察し、発表頂きます。この手法は、少し長い時間スパン（5年から10年）で将来像を描き、それをどう実現するかを考えるのに、非常に適した手法です。

【こんな方におすすめ】

バックキャストで、思考したいことがない方にお勧めします。

■バックキャストとは、フォアキャストと対になる言葉です。フォアキャストは、過去から現在の延長線上に未来が存在するものとして、未来予測をします。それに対してバックキャストは、未来のあるべき姿をまず自分たちで想定してしまい、そこから立ち返って、現在、それまでにどんな戦略を立て、何を行っていくかのロードマップを描きます。

■ 3. メニュー概要 (5/8)

2. 半日コース (3時間30分/最大40名/対象:管理職のキーパーソン向け)

⑤ 「持続可能な社会とCSRそしてSDGsへ」受講コース

本コースでは、ミニ演習も交え、ESG, サステナビリティの全体像を包括的に効率よく学べ、SDGsとの紐付けもできるコースデザインとなっています。

言うまでもなく、現代社会は持続可能でない社会であり、目指すべき持続可能な社会とは大きなギャップが存在します。そのギャップを社会課題（持続不能性）と呼び、それを国連が17項目に分類して整理したものが、SDGsと言えます。そして、事業を通してこのSDGsの解決に立ち向かうことが、実はCSRの本義なのです。

【こんな方におすすめ】

- 単発レクチャー・講演の3種類の受講コースを統合し、総合化したコースで、サステナビリティの全体像を今一度しっかりと関連付けて理解したいという方向けの、お得なお勧めコースです。

■ 3. メニュー概要 (6/8)

3. 1日コース (6時間30分/最大40名/対象:管理職のキーパーソン、経営層向け)

⑥ 「サステナビリティでイノベーションを起こす」コース

本コース前半では、CSR、持続可能な社会、SDGsといった、サステナビリティを理解する上で、不可欠な要素をまず学びます。次いで、社会の大きな潮流を見据えつつ、演習を通してバックカスティングを実際に経験し（グループに分かれた演習と発表）、この手法の基本を身に付けて頂きます。最後に、サステナビリティがなぜイノベーションに結びつくのかを解説、共有し、今後の可能性について、議論し、まとめを行います。

【こんな方におすすめ】

中長期経営計画策定の際、どのように計画すれば良いのか学びたい方は、是非受講下さい。本コースは、主に以下の3つで構成されます。

1. SDGsも含め、ESG、サステナビリティの基礎を学ぶ。
2. 社会の大きな潮流を見据えながら、バックカスティングを実行してみる。
3. サステナビリティとイノベーションとを結びつける。

■ 3. メニュー概要 (7/8)

4. 6ヶ月コース (6時間×6回/最大40名/対象:管理職のキーパーソン、経営層向け)

⑦「サステナブル イノベーション コミュニティを作る」コース

本コースでは、約半年間かけて、腰を据えて、サステナビリティ全般を広く・く学び、バックキャストिंगをはじめとした手法を身に付け、それらを活用しながら、最終的にはイノベーションを創発するお膳立てまでを行います。

主たる目的は、SDGsと紐付けしながら、会社（組織）の長期ビジョンを自らの手で作り上げ、そこにイノベーションを連動させることにあります。コース卒業者は各職場に戻り、各人が各部署に、SDGsが目指す社会像やサステナビリティの思考を埋め込む、いわば「変革の担い手」として活躍することが期待されます。

【こんな方におすすめ】

- ▣ SDGsをベースにして、2030年、あるいは2050年のあるべき社会像を描きたい…。
- ▣ その社会に本業で貢献する企業（組織）のあるべき姿を描きたい…。
- ▣ あるべき姿を実現するために今から何ができるかの戦略を立案したい…。
- ▣ 戦略を具現化する打ち手をロードマップとして時系列上に展開したい…。
- ▣ ロードマップ上に、イノベーションの要素を埋め込むたい…。

■ 3. メニュー概要 (8/8)

5. ⑧ SDGs製品・サービスの基準づくり Consulting

「SDGsウォッシュ」と呼ばれる自社の取り組みを紐付けする上辺だけの取り組みではなく、SDGs目標達成への貢献はもちろんのこと、製品・サービスを通じた新たな「価値創造」の基準（ものさし）づくりをサポートします。

6. ⑨ SDGs × ISO14001 Consulting

SDGsを企業で実践するための効果的な方法のひとつとして、「環境ISOを使って、企業のSDGsを回す」ことが可能であり、シニア・コンサルタント（現役ISO審査員／元ISO審査員）がSDGs × ISO14001 の運用をサポートします。

7. ⑩ アドバイザーサービス (①～⑨含め、カスタマイズ可能)

環境・順法・CSR分野の専門家1万人以上のネットワークを活用し、環境ビジネスの多種多様なニーズに対応。短期のコンサルタント契約（都度契約）から長期間（一年以上）の継続契約に至るまで、貴社からのあらゆるご要望にお応えします。

(例) 「SDGsの浸透～バリューチェーンの見える化～バックキャスティング～中期計画との融合～優先課題の決定～イノベーションへの発展」

※貴社向けにカスタマイズ可能

■ 4. 講師・専門家紹介（1/2）



多田 博之（ただ ひろゆき）

**サステイナブル経営総合研究所（SBRL）
所長**

<https://tada-sus-labo.com/>

プロフィールの詳細はこちら

<https://tada-sus-labo.com/background/>

【経歴】

1986年にソニー入社後、社会環境部企画室 室長、経営品質部 統括部長を歴任、2003年に環境NPOジャパン・フォー・サステナビリティを設立し、共同代表を経て理事長に就任。2007年にソニー退社後は法政大学客員教授、東北大学大学院環境科学研究科教授、各種官庁の委員等を 歴任し、2018年9月に現在のサステナブル経営研究所を設立、所長に就任。

ビジネスでは21年、教育・研究、NGO／NPOの領域において15年以上の職歴を持ち、特に環境、CSR分野においては、国内外に広範な人脈を保持し、確固たるビジョンを保有する。近年は、SDGsも含め企業・自治体のコンサルティング実績多数。

■ 4. 講師・専門家紹介 (2/2)



鈴木 敦子 (すずき あつこ)

株式会社 環境ビジネスエージェンシー (eba)
代表取締役

プロフィールの詳細はこちら

<http://www.ebagency.jp/career.html>

【経歴】

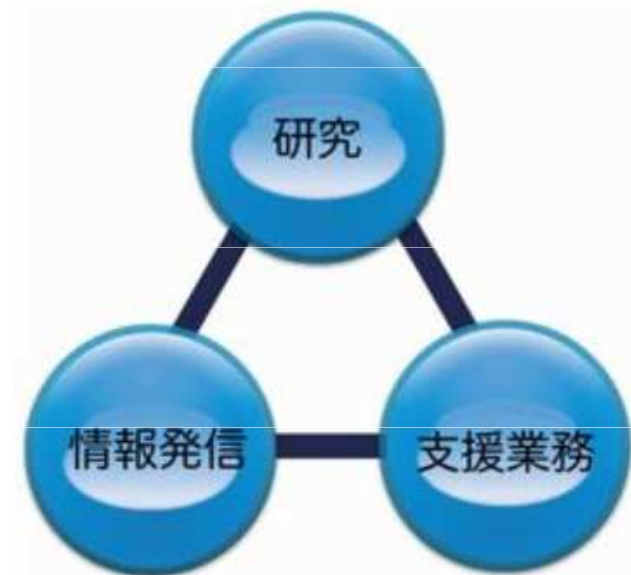
大学時代に環境サークルを設立、サブゼミとして2年間研究を行う中で『環境の仕事』への就職を選択。以後、環境分野において様々な活動を展開。現在、NPO法人・株式会社を両輪に、産官民の環境・CSR活動支援をおこなう。最近では講演や企業等からの研修依頼も多く、より効果的かつ実践的なプログラムを提案、企業価値向上をサポートしている。

また、株式会社とNPOの両方を運営する事により、企業と市民の橋渡し役を担っている。

■ 5. SBRLの特徴

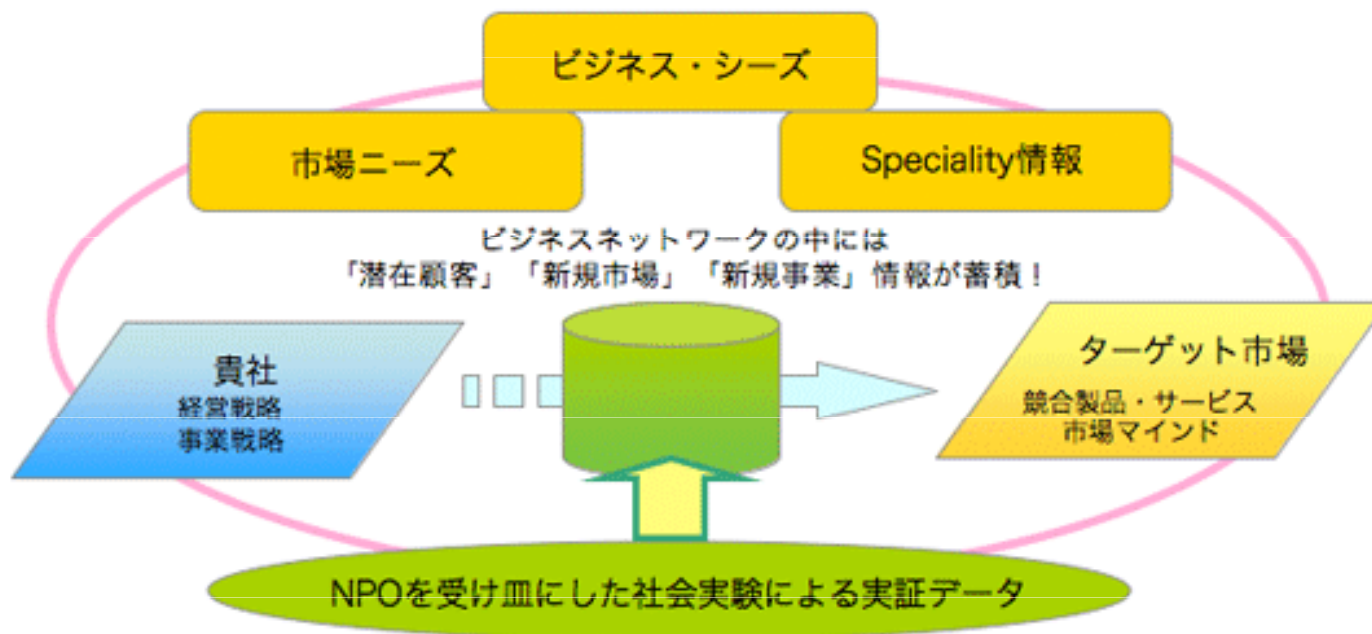
私たちサステイナブル経営総合研究所の支援業務は、以下の点を心がけています。

- ▶ 1. 外からの一方的な情報伝達に留まらないようにする
- ▶ 2. 受講者の内発的な気づきを促すようにする
- ▶ 3. 気づきを具体的な行動につなげるヒントを付与する
- ▶ 4. 受講者の成長に寄与する



■ 6. ebaの特徴


環境ビジネスのトレンドとともに培ってきた需給双方のネットワーク
と
必要に応じた社会実験の実施



- ☛ 1 : 環境ビジネスに特化して10年以上の専門性とネットワーク
- ☛ 2 : 社会実験場NPO (Er) との連携
- ☛ 3 : 企業 (eba) とNPO (Er) 、
両方の運営で培われた説得力とバランス感覚

■ 7. お問い合わせ先

企業の仕事を
社会に活かす。



環境ビジネスを通じ、
これからの貴社と社会の価値向上をサポートします。
ヒト、モノ、カネ、情報、あらゆる経営資源をコーディネートしながら、貴社にとって最適な環境ビジネスをご提案。
その実現に向けて、多面的かつ継続的な支援をおこないます。

- 商号： 株式会社 環境ビジネスエージェンシー (eba)
- 役員： 代表取締役 鈴木敦子
- 住所： 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-3-12 神田小川町ビル8階
- 連絡先： TEL 03-53296-8655 / FAX 03-3296-8656
E-mail toiawase@ebagency.jp
- URL： <http://www.ebagency.jp>
- 創業：1999年10月1日 ■ 設立：2003年9月 ■ 登記：2005年9月
- お問い合わせ先：コンサルティング事業部 担当者：山崎 尚 (やまさき ひさし)